

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2016年7月13日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 現地言語: SUNY newpaltz
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年6月13日
明治大学卒業予定年	2018年3月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月上旬 2学期:1月下旬～五月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約8000
創立年	1828

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	\$ 7620	914400円	
食費	\$ 3860	463200円	
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	\$ 1500	180000円	形態:
渡航旅費	\$ 1000	120000円	
雑費	\$ 350	42000円	
その他		円	
その他	\$ 8000	960000円	生活費、旅費。娯楽費など
その他		円	
<b>合計</b>	<b>\$ 22330</b>	<b>2679600円</b>	

## 渡航関連

渡航経路: NRT→JFK

渡航費用

チケットの種類	往復
往路	13万
復路	13万
合計	26万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

JAL

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

寮

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数1)

3) 住居を探した方法:

学校側が手配してくれた

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

EastWestLivingCommunity という所に属し快適に過ごすことができました。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 可能

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

どんな問題でも相談窓口があると思います。利用はしませんでした。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

学校の周りは治安が良く、実際に事件に巻き込まれる事はありませんでした。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

wifi が十分に通っているので学内では不自由なく使えました。それ以外では simfree の携帯を持っていき、現地の会社とプリペイド契約していました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

新生銀行のカードとクレジットカードを使っていました

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

お土産、薬など。大体のものは向こうで買えます。

## 進路について

1) 進路

就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

ボストンキャリアフォーラムに参加し、自分の進路をもう一度しっかり考える良い機会になりました。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動に向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultures of East Asia	東アジアの文化
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Tierney
授業内容	アメリカの文化と比較しながら日本、台湾、韓国、中国などの文化を学ぶ。
試験・課題など	Reading は毎週出る。試験は授業中に学んだ単語をメインに選択問題や短めの記述。
感想を自由記入	パワーポイントを使った授業で、先生のジョークが面白い。今まで考えたことがなかった視点でアジアの文化を学べた。アメリカの文化に対しても理解が深まった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business Decision Support Systems	ビジネスの決定を支えるシステム学
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・プレゼン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Chuang
授業内容	ビジネスをやるうえで不可欠な情報関係の言葉や使い方を学ぶ。
試験・課題など	チームでのプレゼンがあり、ほかのメンバーと組んで発表しなければならない。
感想を自由記入	ビジネスの初歩の授業。チームプレゼンは英語力の面で大変だったが良い経験になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro International Politics	国際関係学
科目設置学部・研究科	Politics
履修期間	秋学期
単位数	4

本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に70分が3回
担当教授	Crook
授業内容	国際関係学をリアリズム、リベラリズムなど基礎から学ぶ。
試験・課題など	重めのレポートが二つと試験。Readingの量がすごかった。
感想を自由記入	前期に取る授業としてはなかなか重い、内容自体に興味があったのでとても面白かった。先生の英語のアクセントに注意。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Live Theatre Experience	ライブシアター
科目設置学部・研究科	Theatre
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・鑑賞(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教授	Burke
授業内容	ほぼ2週間に一回 off off Broadway, off Broadway, Broadwayなどを観に行く。
試験・課題など	リアクションペーパーのみ。
感想を自由記入	色々な Broadway が観れて面白い NY ならではの授業。Writing が出来ないと結構大変。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Anthropology	文化人類学
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Tierney
授業内容	各国の文化を家族、お金、ギフトなど著名な人類学者の本を基に分野ごとに見ていく。
試験・課題など	中間、期末に加えて二枚のペーパーがある。
感想を自由記入	各国の文化を今までに見たことがない切り口から見れてとても面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Public Speaking	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・プレゼン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Witkowski
授業内容	パブリックスピーキングの授業はプレゼンの仕方のコツを講義だけではなく実践を含めて学ぶ。
試験・課題など	プレゼン4つに加えて中間テスト、期末テストがある。
感想を自由記入	ネイティブスピーカーの前で何度もプレゼンすることで自身の英語に自信がいった。また発音をより気を付けるようになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
United Nations Semester	国連
科目設置学部・研究科	Politics
履修期間	春学期
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が1日+一週間にほぼ1日が1回
担当教授	Pampinella
授業内容	NYCの国連本部ほぼ週一で通い国連本部で実際に働いている人の話を聞いて、その前後でそのテーマについてディスカッション。
試験・課題など	Readingの量が多く一週間に200ページほど。中間、期末、final paper、reaction paperがある。
感想を自由記入	本当に大変だったがなんとかやり切った。学べる内容はとても濃い授業。取っている生徒はほとんど四年生。



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	留学することを決める
4月～7月	学校、サークルの合間に少しずつ勉強
8月～9月	TOEFL の勉強
10月～12月	TOEFL の勉強・出願・面接
2015年 1月～3月	
4月～7月	VISA の手続き、ワクチン接種、留学先への書類提出など
8月～9月	渡航
10月～12月	秋学期
2016年 1月～3月	春学期
4月～7月	帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	高校の時に約1カ月イギリスに留学し、その時に自分が全く知らない世界がこんなにもあることに衝撃を受けました。その後、留学という事への関心が以前にも増して強くなり、高校を卒業するころには大学に入ったら留学をしようと決めていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	自分が留学して特に感じたことは発音です。今まで TOEFL や TOEIC など試験のための英語の勉強をするときには発音ということあまり意識する機会がありませんでした。しかし留学を実際にして現地で話したときに自分の英語がいかに伝わらないか痛感し、独学で矯正しました。留学前に英語の発音の基礎は学んで行くことをお勧めします。
この留学先を選んだ理由	ニューパルツを選んだ理由は多種多様な授業が取れると考えたからです。デザインやアート、シアターなど様々なクラスがあり自分はシアターのクラスを取っていました。またニューヨークに近く大きな刺激を受けることが出来るとも考えました。実際に授業で NYC に行き週一回国連本部で授業を受けたり、友人と NYC に遊びに行く中で大きな刺激を受けることが出来ました。
大学・学生の雰囲気	ニューパルツは周りを大自然に囲まれたのどかな学校です。学校はとても広く、緑にあふれています。留学生の数が多く、全体の生徒の数が少ないのでグローバルでアットホームな環境です。学生の多くは学内の寮で生活しており、とても生徒と生徒の距離感が近い学校だなと感じました。
寮の雰囲気	いくつか寮があり私はクリスベルホールという寮に住んでいたのですがとても綺麗で快適に過ごすことが出来ました。私のスイートはアメリカ人3人と留学生3人という構成で、ルームメイトが1人とスイートメイトが4人いました。ほぼ毎日のように学食で夕飯を一緒に食べるほど仲が良く本当に楽しく過ごすことが出来ました。寮主催でたまにイベントが主催されます。
交友関係	友人関係においては積極的に話しかけること。これが重要だと思います。当初は友達が少なかったのですが ISU(クラブ)の活動や友人の友人など様々な人と交流する中で次第に友人が増えていきました。また壁を作らず話してみる事。ルームメイトとは当初、英語で意思疎通するのも難しく笑って合わせているだけでしたが、徐々に様々な話をするようになり、留学が終わるころには人生や友人関係について朝4時まで意見を交換出来るまでになりました。辛いときも楽しいときも一緒に過ごせる最高の友人が言葉の壁を越えて出来たことはとても大きかったと感じます。
困ったこと、大変だったこと	自分が一番大変だったことは留学中に体を壊したことです。それまではキャパシティをオーバーして留学に来たことをモチベーションに目につく限りすべての事に挑戦していました。そんな自分に体がついてこなくなってしまう、2月の末に健康を損ないました。自分の体と相談し健康第一で動くという事の大切さを学びました。
学習内容・勉強について	勉強はとても刺激的で学びが多かったと感じています。留学先では自分が普段取れない授業を取ろうと思い、様々な分野から心からやりたいことを学びました。特に Cultures of East Asia で学んだ各国の文化の違いや United Nations Semester で得た経験は自分の視野や考え方を大きく広げてくれるものでした。またアメリカの学生は日本の学生とは大きく異なりかなり勉強をしています。その環境から得た刺激もとても大きかったと思います。
課題・試験について	課題、試験の厳しさは想像以上でした。特に Unitd Nations Semester を取っていた後期は3日で100ページほどのリーディングを読まなければいけません。最初は本当に大変でしたが要領が分かってくればしっかりとこなすことが出来ました。試験も全部記述ととても大変だったのですがしっかりとやり切った時の達成感は大きなものがありました。
大学外の活動について	大学外では明治大学の留学生サポーターをしていた時の友人達にボストンキャリアフォーラムに行った際に会いに行きました。そのほかにも教授に紹介してもらった NYC で働いている先輩方やサンフランシスコで働いている先輩にも会いに行き多くの刺激を得ることが出来ました。
留学を志す人へ	私は留学をすれば一年間という時間の中で留学に自分が求めるものは大抵手に入ると考えています。英語が学びたい人は流暢な英語を、たくさんの友人が作りたかった人はたくさんの友人を、自分の大学で遊び足りなかった人は思いっきり遊ぶことができます。だからこそ大切なことは自分の目標をしっかりと持ちそれを見失わないことだと思います。普段は出来ないことが多くできる貴重な時間の中で、自分らしく本当にやりたいことをやっていく。そんな「強さ」を持っていることが大切だと思います。

## 1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	Business Decision Support Systems	Cultures of East Asia	自習	Business Decision Support Systems	Cultures of East Asia	起床	起床
						昼食	昼食
午後	Intro International Politics	自習	Intro International Politics	Intro International Politics	自習		
	自習	自習	Live Theatre Experience	自習	自習	自習	自習
夕刻	夕食	夕食	Live Theatre Experience	夕食	夕食	夕食	夕食
夜	ISU	パーティー・自習など	Live Theatre Experience	ISU	パーティー・自習など		